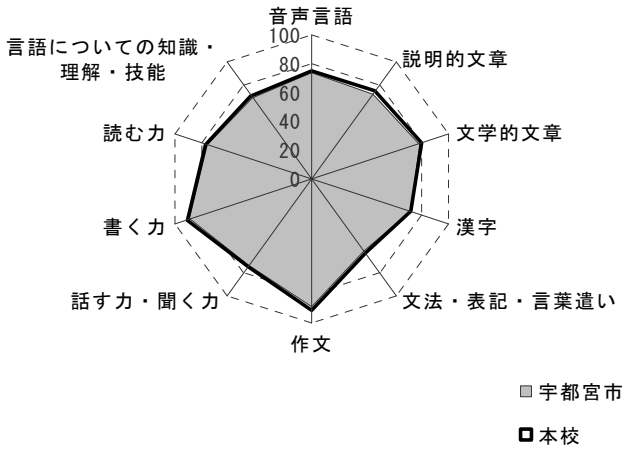


1 学年国語

1 結果

(1) 領域別・観点別平均正答率 (宇都宮市と本校の状況)

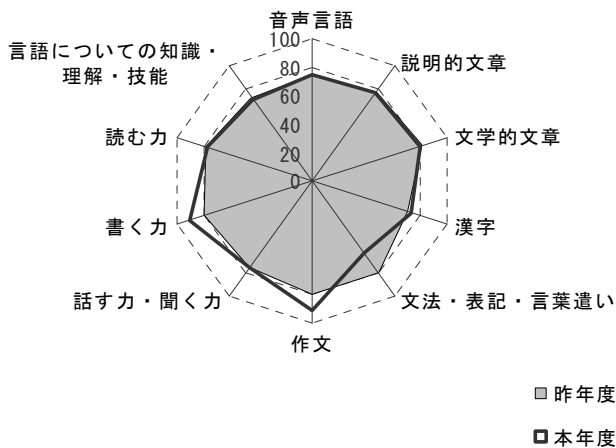


■平均正答率

		宇都宮市	本校
領域別	音声言語	73.6	74.4
	説明的文章	72.9	75.5
	文学的文章	79.1	79.4
	漢字	72.6	72.9
	文法・表記・言葉遣い	62.7	63.8
	作文	89.1	91.1
観点別	話す力・聞く力	73.6	74.4
	書く力	89.1	91.1
	読む力	76.0	77.4
	言語についての知識・理解・技能	70.4	70.8

受検人数	宇都宮市	本校
	3659 人	200 人

(2) 領域別・観点別平均正答率 (平成18年度と平成17年度の状況)



■平均正答率

		本年度	昨年度
領域別	音声言語	74.4	75.1
	説明的文章	75.5	77.0
	文学的文章	79.4	81.0
	漢字	72.9	70.3
	文法・表記・言葉遣い	63.8	79.8
	作文	91.1	79.7
観点別	話す力・聞く力	74.4	75.1
	書く力	91.1	79.7
	読む力	77.4	79.0
	言語についての知識・理解・技能	70.8	72.4

受検人数	本年度	昨年度
	200 人	193 人

※平均正答率の状況から、今後指導の重点を置くべき領域や観点を明らかにし、指導の工夫・改善を図っていきます。

2 指導の工夫・改善

領域	昨年度の状況と本年度の傾向	今後の指導の重点
音声言語 (74.4%)	・昨年度より0.7ポイント下がったが、おおむね満足といえるレベルにある。	・普段の授業の中で、また聞き取りテストを実施しながら、事実を正確に聞き取る力を高めていきたい。
説明的文章 (75.5%)	・昨年度より1.5ポイント下がったが、おおむね満足といえるレベルにある。	・説明的文章の読み取りに苦手意識を持つ生徒がやや多いので、練習を重ね、事実を読み取る力をつけさせていきたい。
文学的文章 (79.4%)	・昨年度より1.6ポイント下がったが、おおむね満足といえるレベルにある。	・文学的文章のさまざまな表現から登場人物の気持ちを、読み取る力を高めたい。 ・語彙を増やし、文章の読み取りにつなげたい。
漢字 (72.9%)	・昨年度より1.9ポイント上がったが、おおむね満足といえるレベルにある。	・日常のノート指導などから、正しく漢字を使う能力を高めたい。
文法・表記 言葉遣い (63.8%)	・昨年度より15.5ポイント下がった。十分に理解しているとはいえない状況であり、復習が必要である。	・文法については、折に触れて復習の機会を作っていきたい。
作文 (91.1%)	・昨年度より11.4ポイント上がった。書くことに関しては全体的に満足といえる状況にある。	・作文を書く機会を確保し、さらに伝わりやすく書く力をつけさせていきたい。 ・理由を挙げて論理的に述べる力もつけさせていきたい。